

令和6年度スポーツ産業の成長促進事業
「スタジアム・アリーナ改革推進事業（審査委員会の運営等）」

審 査 基 準

I 採択案件の決定方法

提案された企画について審査を行い、原則として予算の範囲内で各評価項目の得点が高いものについて採択案件に決定する。採択件数は公募時点の予定件数であり、審査委員会の決定により増減する場合がある。

II 審査方法

受託を希望する団体から提出された企画提案書等に基づき、スポーツ庁に設置された技術審査委員会において書類選考を実施する。また、必要に応じて審査期間中に提案の詳細に関する追加資料の提出を求めることもある。

III 評価方法

評価は企画提案ごとにそれぞれ「絶対評価」にて行うものとする。下記の評価項目及び評価基準に基づき、技術審査委員会の各委員が各々評価した結果の合計を平均したものを当該提案者の得点とする。なお、評価得点が24点に満たないものについては不合格とする。

〔評価項目〕

1 事業実施主体に関する評価

- (1) 事業実施・事業管理に必要な人員・組織体制が整っていること。
- (2) 事業を円滑に遂行するために、実施体制に工夫がなされていること。
- (3) 事業を適切に遂行するために必要な実績・ノウハウ等を有していること。
- (4) 事業を実施するための適切な財政基盤、経理能力を有していること。
- (5) 事業の成果を最大化するために必要な当該分野及び関連分野に関する知識・知見及びネットワークを持っていること。

2 事業内容に関する評価

- (1) 公募要領で定める事業内容について全て提案され、実現性・妥当性があること。
- (2) 多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ選定に係る補助的業務として、審査委員会や表彰式等の運営における改善策及び選定された拠点が享受することができるメリットに関する検討、選定案件を公表する際や選定拠点の表彰式の開催等の広報イベント効果を最大化する施策の検討に当たっての具体的な提案がなされていること。
- (3) 選定施設の評価ポイントをまとめた事例集のアップデート及び過年度に選定されたスタジアム・アリーナのフォローアップに当たっての具体的な提案がなされていること。
- (4) スタジアム・アリーナ改革関連施策の周知・普及に当たり、相談窓口の開設や専門人材の派遣、関連施策に関する相談者への提案など、全国各地のスタジアム・アリーナ整備に向けた構想・計画を行っている地方公共団体や民間企業等に対して、地域のニーズに応じた支援を行うための具体的かつ効果的な提案が

されていること。

- (5) 多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナを選定することによる効果検証及び、同選定に代替する新たなスタジアム・アリーナ改革推進施策の検討に係る具体的な方策が示されていること。
- (6) 各事業の手順・スケジュールが具体的かつ合理的であること。
- (7) 事業規模に必要な経費が適切に示されていること。

3 その他

- (1) ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価
 - ・ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有していること。
- (2) 障害者支援等の取組に関する評価
 - ・審査委員会等の会議を開催するにあたり、車いす等での参加が可能となるよう施設面で配慮を行うこと。

〔評価基準〕

- 1 「1 事業実施主体に関する評価」及び「2 事業内容に関する評価」に係る評価基準以下の評価基準により5段階評価を行う。

大変優れている = 5点	優れている = 4点	普通 = 3点
やや劣っている = 2点	劣っている = 1点	

- 2 「3 (1) ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価」に係る評価基準以下の認定等の中で該当する最も配点の高い区分により評価を行う。なお、内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けている外国法人については、相当する各認定等に準じて評価する。

○女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定（えるぼし認定・プラチナえるぼし認定）等

- ・ 認定段階 1（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと。）＝ 1. 5 点
- ・ 認定段階 2（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと。）＝ 2. 0 点
- ・ 認定段階 3＝ 2. 5 点
- ・ プラチナえるぼし認定企業＝ 3. 5 点
- ・ 行動計画策定済（女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定義務がない事業主（常時雇用する労働者の数が 100 人以下のもの）に限る（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）＝ 1. 0 点

○次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・トライくるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）

- ・ くるみん認定①（平成 29 年 3 月 31 日までの基準）（次世代法施行規則等の一部を改正する省令（平成 29 年厚生労働省令第 31 号）による改正前の次世代法施行規則第 4 条または平成 29 年改正省令附則第 2 条第 3 項の規定に基づく認定＝ 1. 5 点
- ・ トライくるみん認定＝ 2. 0 点
- ・ くるみん認定②（平成 29 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日までの基準）（次世代法施行規則等の一部を改正する省令（令和 3 年厚生労働省令第 185 号）による改正前の次世代法施行規則第 4 条又は令和 3 年改正省令附則第 2 条第 2 項の規定に基づく認定（ただし、①の認定を除く）＝ 2. 0 点
- ・ くるみん認定③（令和 4 年 4 月 1 日以降の基準）（令和 3 年改正省令による改正後の次世代法施行規則第 4 条第 1 項第 1 号及び第 2 号の規定に基づく認定）＝ 2. 0 点
- ・ プラチナくるみん認定＝ 3. 5 点

○青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定・ユースエール認定＝ 2. 0 点

○スポーツエールカンパニー認定

（スポーツ庁「Sport in Life プロジェクト」に基づくスポーツエールカンパニーの認定）

- ・ スポーツエールカンパニー認定＝ 1 点
- ・ スポーツエールカンパニー+（プラス）認定＝ 2 点
- ・ Bronze（ブロンズ）認定＝ 2 点
- ・ Bronze+（ブロンズプラス）認定＝ 3 点
- ・ Silver（シルバー）認定＝ 3 点
- ・ Silver+（シルバープラス）認定＝ 3. 5 点

○上記に該当する認定等を有しない＝ 0 点

3 「3（2）障害者支援等の取組に関する評価」に係る評価基準
以下の評価基準により 3 段階評価を行う。

大変配慮している＝ 2 点 配慮している＝ 1 点 配慮していない＝ 0 点